

## パイプファン 工事説明書

用途	浴室用	品番	電源コード付タイプ	
			φ100パイプ用 FY-08PTU8 FY-08PDUK8	φ150パイプ用 FY-13PDU8 FY-12PTU8

### 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

### 警告

■仕様変更・改造は絶対に行わない

火災・感電・けがの原因となります。  
分解禁止

■内釜式風呂を設置した浴室に取り付けられない

排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。  
禁止

■交流100ボルト以外で使わない

火災・感電の原因となります。  
禁止

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

■D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。  
アース線接続

### 注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなす

誤った配線工事や、電線のかみこみなどがあると漏電、感電や火災のおそれがあります。

■指定のコーキング作業は確実にこなす

結露水などが本体に浸入し、火災の原因となります。

■浴室内に電源スイッチを設けない

湿気により、感電することがあります。  
禁止

## お願い

■高温になる場所(周囲温度40℃以上)に取り付けしないでください。製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や雨水浸入の原因となります。

(1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ

(3) 接続パイプ径を小さくする (4) 壁埋込パイプを室内に傾斜させる(室内側)

■温泉や殺菌用塩素を使用する公衆浴場などには取り付けしないでください。故障の原因となります。

■スプレーがかかる場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。

■アルミフレキダクトには取り付けしないでください。

異音が発生する原因となります。※やむを得ない場合は、本体の取付ばねを取りはずして、必ず付属のねじ(2個)で固定してください。※取り付け時、ダクトの変形、羽根あたりに十分注意してください。

取付ばねのはずしかた ※取付ばねをはずしたあと、元通りねじを取り付ける。

■防火ダンパー付パイプフードには取り付けしないでください。防火ダンパーが正常に機能しません。

■台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所には取り付けしないでください。部品などの破損の原因となります。

■アース工事をする場合は次のいずれかの方法でおこなってください。他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。

コンセントのアース端子にアース線を接続する場合

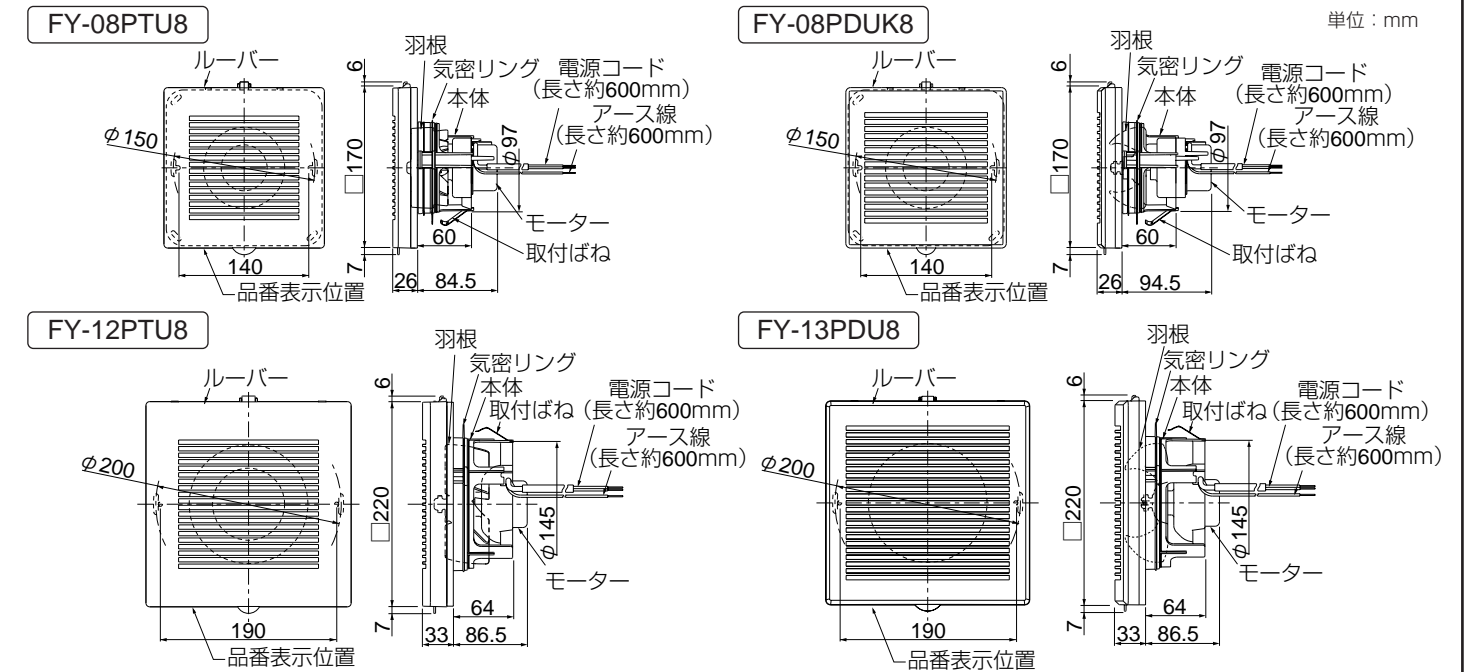
アース線(導線径は1.6mm以上を使用する。市販品) コンセント(浴室外) アース端子

パイプファン アース棒を使用する場合

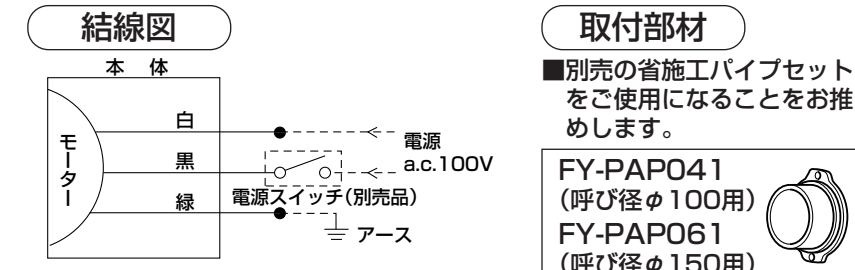
アース線(導線径は1.6mm以上を使用する。市販品) アース棒(市販品) 30cm以上 地面(できるだけ湿気のある場所を選ぶ)

## 各部の名前と寸法

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。



付属品 末尾の数字は数量をあらわします。  
ねじ(本体裏面に付属) .....2 取扱説明書 .....1  
(本体固定用) (必ずお客様にお渡しください。)



■電源スイッチを使用する場合は、FY-SV05W(別売品)をご使用ください。市販のパイロットランプ付きの電源スイッチには、消費電力10W以下の製品ではパイロットランプが点灯しないものがあります。

取付部材  
■別売の省施工パイプセットをご使用になることをお勧めします。  
FY-PAP041 (呼び径φ100用)  
FY-PAP061 (呼び径φ150用)

パイプセットをご使用になる場合は、パイプセットに付属の工事説明書を参照願います。

■このパイプファンは次のパイプに取り付けることができます。

	適用パイプ(呼び径)	外径	内径	下穴径
φ100タイプ	FY-PAP041	φ110	φ107	φ110
	VP100	φ114	φ100	φ115
	VU100		φ107	
φ150タイプ	FY-KP04	φ103	φ100	φ105
	FY-PAP061	φ157	φ154	φ160
	VU150	φ165	φ154	φ165
	FY-KP06	φ153	φ150	φ155

●VPパイプやFY-PAP041、FY-PAP061にパイプファンを取り付けた後、VUパイプには取り付けしないでください。(風漏れ防止のため)  
●VP150管は使用しないでください。VP150管にパイプフードの06タイプ(φ150用)が取り付けられない場合があります。  
●VPパイプやFY-PAP041、FY-PAP061に取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。  
■取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

# 施工方法 以下の手順に従って施工してください。イラストはFY-08PTU8を示します。

## 1 パイプ・パイプフードの取り付け

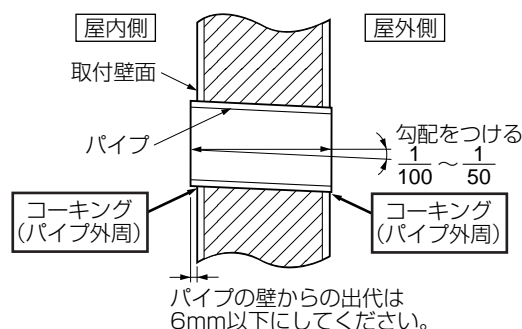
壁に取り付ける場合

- ①取り付け場所を決める。  
「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。



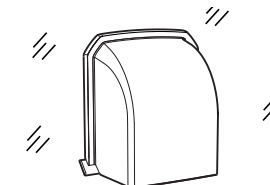
下穴径は使用するパイプにあった穴径を選んでください。

- ②パイプを壁に埋め込む。  
パイプはかならず取り付け、取り付け壁面にコーキング処理を施し、パイプがぐらつかないよう確実に固定してください。



■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

- ③外壁面には、パイプフード（別売品）、ベントキャップ（別売品）を取り付ける。



■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。  
特に薄壁(φ100タイプの場合：壁厚110mm以下、φ150タイプの場合：壁厚117mm以下)の場合は、薄壁用のパイプフード・ベントキャップを選定してください。また、パイプフード・ベントキャップが、パイプファン本体に当たらないように施工してください。  
■外風や風雨浸入を防止するため、シャッター付パイプフードの取り付けをおすすめします。

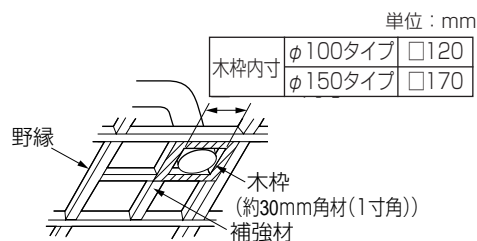
天井に取り付ける場合

- ①取り付け場所を決める。  
「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。



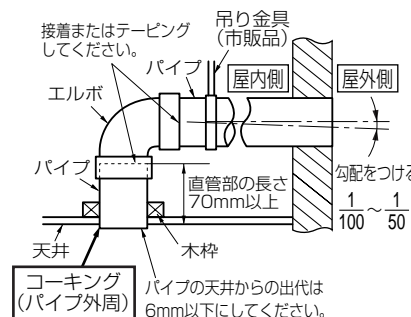
下穴径は使用するパイプにあった穴径を選んでください。

- ②木枠をつくり野縁に固定する。



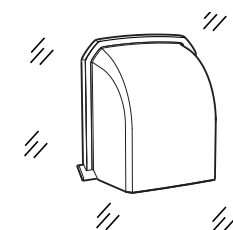
■本体を確実に固定するために必ず木柵を設置してください。

- ③ダクト工事をする。



■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。  
■樹脂製のパイプ・エルボをご使用ください。  
■パイプの途中で電源コードを引き出す穴(φ2)を電源コードを出せる位置に開けてください。

- ④外壁面には、パイプフード（別売品）、ベントキャップ（別売品）を取り付ける。



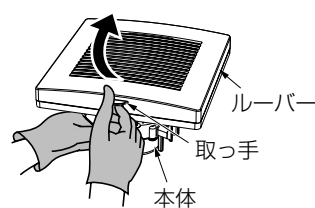
■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。

## 2 本体の取り付け

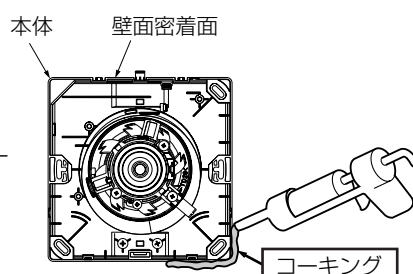
壁・天井同様に取り付けます。

- ①ルーバーをはずす。

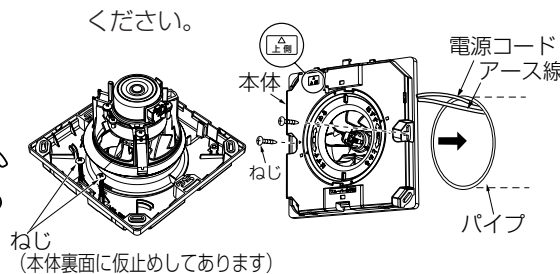
(1)ルーバー下面の取っ手に指を引っ掛け、  
(2)手前に引いてはずす。



- ②本体の壁面密着面にコーキング材を塗布する。



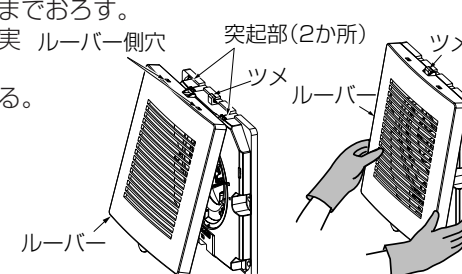
- ③本体をパイプに差し込み固定する。必ず付属のねじ(2個)で固定してください。余分な電源コードはパイプ内に押し込んでください。



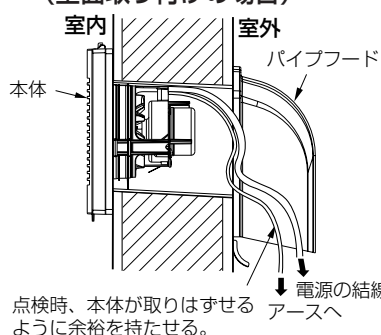
■壁、傾斜天井に取り付ける場合は、上側表示を上にして取り付けください。  
■本体と壁面の間にすき間がある場合は、左右に数回ひねって押し込んでください。  
■浴室壁面にねじが立たない場合は、φ3~φ3.5程度の下穴をあけてねじ締めしてください。  
■VPパイプやFY-PAP041,FY-PAP061に取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。

- ④ルーバーを本体に取り付ける。

(1)ルーバーを本体上部のツメに引っ掛け、突起部(2か所)とルーバー側の穴をあわせる。  
(2)壁面に当たるまでおろす。  
(3)ルーバーが確実にルーバー側穴に取り付いているか確認する。

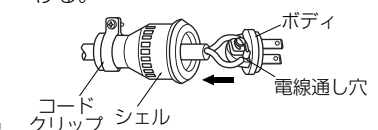


- ⑤結線方法 (壁面取り付けの場合)

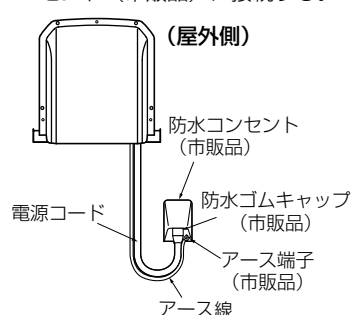


防水ゴムキャップ(市販品)への結線方法例 (パナソニック(株)製WF7215Kの場合)

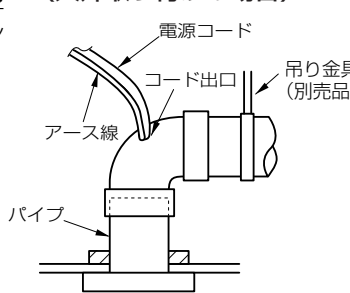
- ①電線を電線通し穴に通し端子ねじを締め付ける。  
②シェルをボディに取り付ける。  
③コードクリップをしっかり締め付ける。



■電源コードと防水ゴムキャップ(市販品)を結線し、アース端子(市販品)をかきつけて、防水コンセント(市販品)に接続する。



(天井取り付けの場合)



電源コードとアース線をパイプの途中より出して結線してください。(コード出口より湿気がもれないようにしてください。)天井取り付け時には、点検口を必ず設けてください。

■電源コードやアース線が羽根に当たらないように施工してください。

(電線接続の方法例)



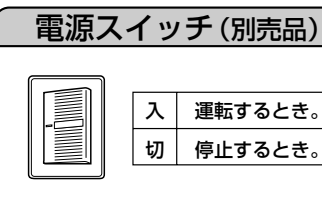
電源接続部は、ゆるみが生じないように確実な接続工事をおこなってください。また、アース線も同じ方法で接続をおこなってください。

リングスリーブ(E形)による接続

・リングスリーブ(JIS C 2806)と圧着ベンチ(JIS C 9711)は、JIS適合品を使用し、リングスリーブは小(呼び)をご使用ください。  
・接続箇所は絶縁テープ等で確実に絶縁をおこなってください。

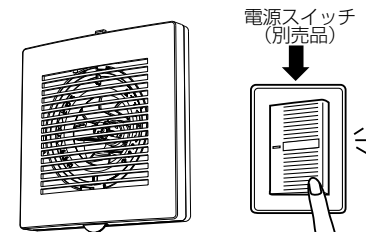
## 3 試運転

- ①運転方法



- ②電源スイッチ(別売品)を「入」にして運転し、異常がないか確かめる。

■羽根が回っていますか?  
■異常な振動・騒音がありませんか?



パナソニック株式会社  
パナソニック エコシステムズ株式会社  
〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下中田4017番  
TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008